

1. 令和6年度の実績について

(1) 入園者数

単位：人

項 目		令和6年度	令和5年度	比較増減	前年度比	令和4年度 (参考)
有 料	一 般	246,539	254,816	△8,277	96.7%	283,893
	団体等	14,552	15,132	△580	96.1%	12,677
	小 計	261,091	269,948	△8,857	96.7%	296,570
無 料		136,587	144,104	△7,517	94.7%	154,292
合 計		397,678	414,052	△16,374	96.0%	450,862

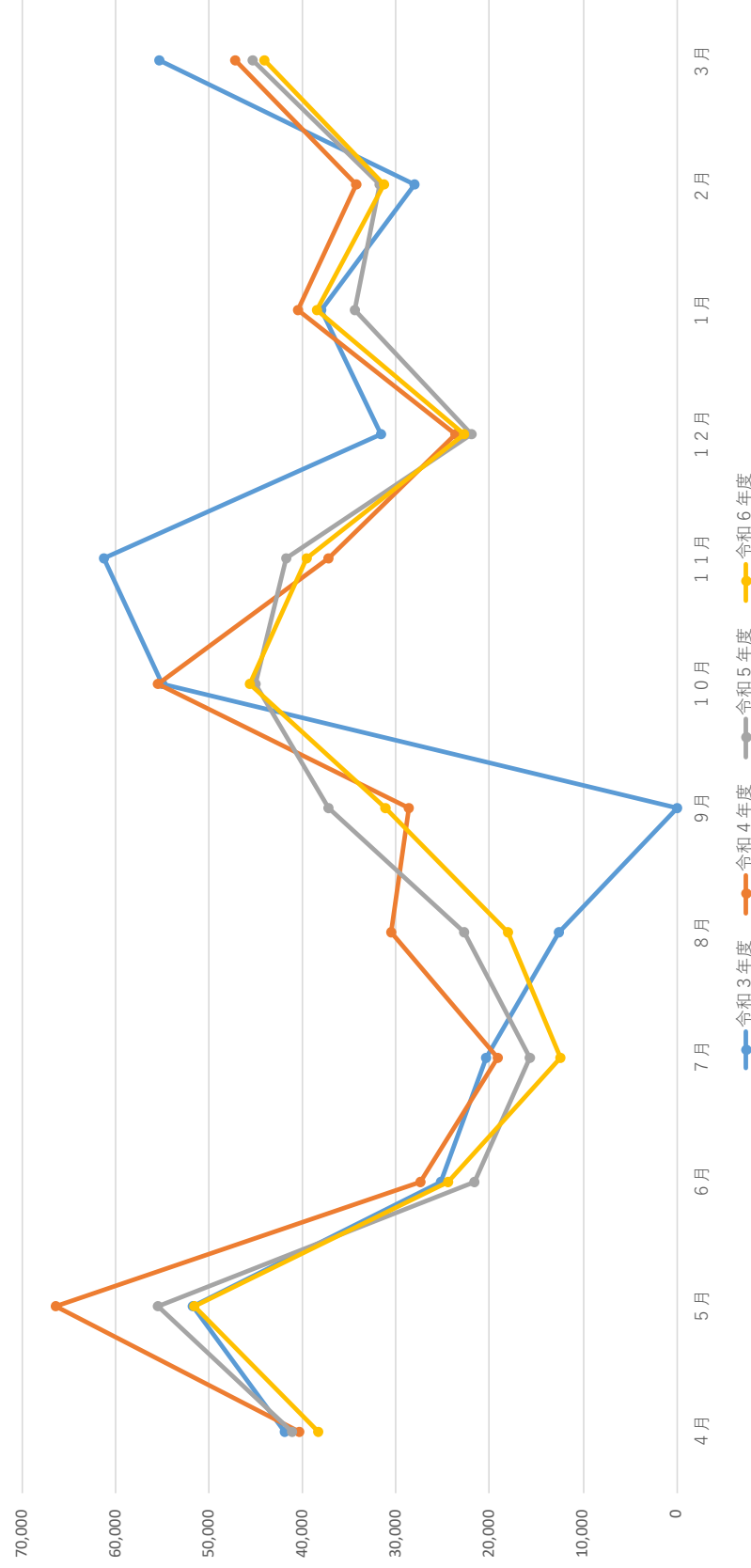
(2) 収入額

単位：円

項 目		令和6年度	令和5年度	比較増減	前年度比	令和4年度 (参考)
入 園 料		138,240,330	145,028,020	△6,787,690	95.3%	157,479,320
施 設 使用料	駐車場	66,116,770	68,483,550	△2,366,780	96.5%	75,178,940
	遊戯施設	10,329,650	12,224,250	△1,894,600	84.5%	14,151,300
	オートチェア・ ローラースライダー	17,848,750	4,060,950	13,787,800	439.5%	10,656,750
その他施設収入		15,372,667	16,687,162	△1,314,495	92.1%	18,655,073
合 計		247,908,167	246,483,932	1,424,235	100.5%	276,121,383

※令和4年9月25日の台風15号の影響により、山頂東側法面崩落のため、
オートチェア・ローラースライダーは令和6年1月31日まで運休

年間入園者数の推移（現年度ほか過去3年間）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和3年度	41,858	51,763	25,237	20,348	12,640	0	55,023	61,197	31,621	37,942	28,024	55,284	420,937
令和4年度	40,391	66,460	27,328	19,204	30,476	28,568	55,420	37,282	23,655	40,569	34,275	47,234	450,862
令和5年度	41,109	55,401	21,694	15,622	22,676	37,230	45,056	41,802	21,872	34,447	31,746	45,397	414,052
令和6年度	38,349	51,575	24,405	12,494	17,964	31,177	45,680	39,557	22,785	38,425	31,260	44,007	397,678

※R3/8/20から9/30まで新型コロナウイルス感染症対策のため臨時休園

(3)令和 6 年度に実施した主なイベント

・ZOO スポットガイド

飼育員による特別ガイドを毎月第3日曜日に開催。

令和6年度は「獣医のお仕事」、「カピバラ」、「アムールトラ」、「チンパンジー」、「オランウータン」、「堆肥場」、「モルモット」、「アクシスジカ」、「調理場」、「ヤギ・ヒツジ」、「中型サル」、「夜行性動物館」のガイドを行った。



・飼育の日イベント+大人の飼育体験 4/20、4/21、5/25

4月19日の「飼育の日」にちなみ、飼育のことをより知ることができるイベントで、「飼育員のお仕事ガイド(4/20、4/21)」や「サイの背中をブラッシング(4/21)」などのガイドやイベントを実施したほか、5月25日には当園の飼育員が普段行っている作業を体験できるイベント「大人の飼育体験」を開催した。



・企画展「あし展」 7/17～9/1

「動物のあし」をテーマに、ビジターセンターで開催。あしに関する動物の標本や紹介パネル(肉球、爪、蹄、立ち方など)、クイズの展示を実施。



・夏の動物園まつり 7/27～8/25

当園恒例の「夏の動物園まつり」を開催し、期間中には体験型・観察型イベントを多数実施。8月1日には開園55周年を迎えた。



・国際レッサーパンダデー2024 9/7～9/29

毎年9月の第3土曜日の『国際レッサーパンダデー』に合わせて、レッサーパンダの魅力をPRするためのイベントを開催。期間中はレッサーパンダの生態等を解説したパネルを掲示した。

また、(一財)静岡市動物園協会が主体となりチャリティーイベントの実施やチャリティーグッズの販売を行った。

・夜の動物園 9/21、9/22、10/12、10/13

普段見ることの出来ない夜の動物たちの様子を観察できる恒例イベントで、静岡市ろうあ協会、静岡英和学院大学及び市環境共生課との連携イベントのほか、レストハウスでコンサートなどを開催した。

・秋の動物園まつり 10/5～11/4

当園恒例の「秋の動物園まつり」を開催。
期間中は、体験型・観察型イベントを多数実施。



・干支展(巳) 12/10～1/13

2025年の干支「巳」にちなんだ企画展で、フотスポットの設置やヘビの生態や特徴、豆知識を紹介するパネル展示を行った。



・冬の動物園まつり 12/14～1/13

令和5年度から「冬の動物園まつり」を開催し今年で3回目。期間中には体験型・観察型イベントを多数実施。

・春の動物園まつり 3/1～3/30

当園恒例の「春の動物園まつり」を開催。
期間中は、体験型・観察型イベントを多数実施。



・「静岡市ろうあ協会」×「日本平動物園」による連携イベント

「手話言語国際デー」(9月23日)が「国際レッサーパンダデー」(9月の第3土曜日)及び「夜の動物園」(9月21日22日)と日程が近いことから、「静岡市ろうあ協会」と連携して新規イベントを企画した。

レッサーパンダ特別ガイドの内容を手話での同時通訳や、ミニ手話教室「動物の手話を学ぼう!」のほか、動物の手話を学びながら園内を巡る手話スタンプラリーを実施した。

・日本平動物園サポーター制度

種の保存の推進や更なる魅力向上等を図るため、本趣旨に賛同いただける方々から広く支援を募り、応援いただいた個人又は団体を「日本平動物園サポーター」に認定する。

<令和6年度実績> 個人:39件 支援金額 220,000円

支援金は「静岡市立日本平動物園整備基金」に積立て、今後当園が推進する動物の収集や獣舎等の施設整備などの経費に充てていく。

新たな財源確保のみならず、動物園や飼育動物への愛着、応援したいという強い思いを持つファンとの共感と相互理解の醸成、協力体制の構築などを期待している。

(4)企業・大学・地域との連携事業等実績

企業との連携事業のほか、寄附金などにより、来園者サービスの向上や新たな財源確保を図った。

①民間企業との連携

◆清水エスパルス コラボイベント 5/18～6/30

日本平動物園ビジターセンターにおいて、「SHIMIZOO エスパルス展」を、また、清水エスパルスホームゲーム(IAI 日本平スタジアム・令和6年 5 月 26 日・水戸ホーリーホック戦)において、「SHIMIZOO×日本平動物園展」を実施した。

両会場では、清水エスパルスの選手がチャームな動物たちのイラストキャラクターに変身した「SHIMIZOO S-PULSE」のほか、静岡市出身選手6人のインタビュー「日本平動物園の思い出」パネルなどを展示した。また、当園を訪れたお客様先着 10,000 名様に、「SHIMIZOO S-PULSE」オリジナルポストカードをプレゼントした。

ホームゲームで実施した「日本平動物園展」では当園の動物のフォトパネルやレッサーパンダ、オランウータンを題材にした「SDGs 啓発パネル」を展示した。



◆トヨタユナイテッド静岡 コラボイベント 7/6

当園開園 55 周年・トヨタユナイテッド静岡3周年を記念したコラボイベントを実施。トヨタユナイテッド静岡によるイベント企画や飼料の提供により、脳トレラリーチャレンジ、動物たちのお食事タイム(中型サル、アジアゾウ、チンパンジー、ホッキョクグマ)を実施した。



◆東海道広重美術館 コラボイベント 7/30～10/6

当園開園 55 周年・東海道広重美術館 30 周年を記念したコラボイベントを企画して相互PR・誘客を図った。

当園では、「出張！浮世絵スタンプラリー」や「浮世絵缶バッジプレゼント」を実施した。また、東海道広重美術館では、「出張！日本平動物園 かえってきたうきよえどうぶつ館」を実施した。



◆カピバラ温泉 2/15、16、22、23、3/1、3/2

市内の温泉3施設(用宗みなと温泉、ふろ café bijinyu、しずもーる西ヶ谷)からカピバラの温水プールに投入する温泉水を一定量プレゼントいただいた。



◆コストコホールセールジャパン

昨年度に引き続き、コストコホールセールジャパンで発生する牛肉の端材を無償提供いただいた。これにより当園では飼料費の削減、相手方にとっては処理コストの削減のほか、資源の有効活用による SDGsの推進が続いている。

②大学との連携

しずおか中部5市2町で取り組む「大学連携による地域課題解決事業」において、「日本平動物園のPR・集客に繋がる連携事業の実践！」の連携大学を募ったところ、常葉大学、静岡英和学院大学、静岡産業大学が手を挙げてくださり、それぞれ次のとおり連携事業を実施した。

◆常葉大学法学部(丸岡ゼミ)

同大学、静岡市選挙管理委員会事務局、日本平動物園の3者連携により「日本平動物園 動物総選挙」を実施した。これは、日本平動物園の集客・PRのみならず、令和7年3月23日実施の静岡市議会議員選挙の投票率向上、ファミリー層への主権者教育も目的に据え、本物の記載台、投票箱のほか、ポスター掲示版、投票

用紙、選挙公報など、可能な限り本物の選挙を模した 本格的な「動物総選挙」を実施した。

※投票期間・・・R7/1/15～2/24 ※投票数 14,536 票

※当選動物・・・葵区レッサーパンダ、駿河区ツチブタ、清水区ホッキョクグマ



◆静岡英和学院大学短期大学部(心理学研究室)

夜の動物園の企画ミーティングに学生も参加して意見交換を重ね、夜の動物園(9月10月)の4日間、散策広場においてオリジナルデザインによるフотスポットとイルミネーションを設置して来園者のおもてなしを実施した。



◆静岡産業大学経営学部(岩本武範研究室)

学内や園内でワークショップを重ね、様々な PR方法を検討いただいた。その一つとして、新たなノベルティとして、「オリジナル付箋」を製作・納品いただいた。この付箋は園内のイベントにおいて配付・PRしている。



③地域との連携

「レッパーくんもぐもぐプロジェクト」

市内各地域で活動する竹林整備団体、放任竹林対策に取り組む市環境局、日本平動物園の3者連携により、竹林整備時に発生する竹の葉をレッサーパンダ等の飼料

として活用する枠組みを構築中。現在、3者で課題を共有・整理しており、持続可能な仕組みとして確立することを目指している。



④寄附金等

品目	金額	備考
園内募金等	839,230 円	当園整備基金に積立て
サポーター制度	220,000 円	当園整備基金に積立て
放任竹林対策活動支援(静清信用金庫)	500,000 円	同活動への支援に活用
チャリティーグッズ等の売上げの一部	238,620 円	「Red Panda Network」へ寄附
園内写真販売の収益分配金	2,145,810 円	雑入へ収入

(5)教育・環境教育

こども園等の園児を対象とした幼児動物教室や小学生を対象とした出張 動物園ガイド、中学生を対象とした職場体験学習、専門学生や大学生を対象とした飼育実習、獣医学生を対象とした獣医実習等を実施した。

このほか、令和6年度は、静岡県立静岡農業高校生への幼児動物教室模擬体験教室や静岡大学グローバル共創科学部の学生への講義を実施した。

(6)動物の繁殖、来出園及び死亡

<繁殖動物>

種・性別	愛称	繁殖年月日	備考
マレーバク(オス)	オリバ	令和 6 年 7 月 18 日	

<来園動物>

種・性別	愛称	来園年月日	来園元
チリーフラミンゴ(オス)		令和 6 年4月 15 日	川原鳥獣店
チリーフラミンゴ(オス)		令和 6 年4月 15 日	川原鳥獣店
チリーフラミンゴ(メス)		令和 6 年4月 15 日	川原鳥獣店
シロビタイムジオウム(オス)	タイ	令和 6 年 5 月 23 日	埼玉こども動物自然公園
オシドリ(オス)		令和 6 年 6 月 19 日	浜松市動物園
オシドリ(メス)		令和 6 年 6 月 19 日	浜松市動物園
カミツキガメ(不明)		令和 6 年 9 月 25 日	静岡大学
ポニー(メス)	ハイジ	令和 6 年 11 月 16 日	平沢ライディングガーデン
スダスローロリス(メス)	ヒロコ	令和 6 年 11 月 21 日	広島市安佐動物公園
ヒゲサキ(メス)	ラカーユ	令和 6 年 11 月 28 日	日本モンキーセンター
カンムリシロムク(オス)		令和 7 年1月8日	横浜市繁殖センター
カンムリシロムク(メス)		令和 7 年1月8日	横浜市繁殖センター
カンムリシロムク(メス)		令和 7 年1月8日	横浜市繁殖センター

<出園動物>

種・性別	愛称	出園年月日	出園先
レッサーパンダ(オス)	かずのこ	令和 6 年4月 16 日	桐生が岡動物園
ベネットアカクビワラビー(オス)	ハル	令和 6 年4月 17 日	川原鳥獣店
シロフクロウ(オス)		令和 6 年4月 17 日	川原鳥獣店
シロフクロウ(オス)		令和 6 年4月 17 日	川原鳥獣店
ヤギ(オス)	輝(ひかる)	令和 6 年 9 月 4 日	那須どうぶつ王国
オオアリクイ(メス)	妃南(ひな)	令和 6 年 11 月 11 日	沖縄こどもの国
ブラザグエノン(メス)	ユッシー	令和 6 年 11 月 28 日	日本モンキーセンター
ヒゲサキ(メス)	キーマ	令和 6 年 11 月 28 日	日本モンキーセンター

<死亡動物>

種・性別	愛称	死亡年月日	備考
レッサーパンダ(オス)	タク	令和 6 年 7 月 16 日	
ツチブタ(メス)	フラハ	令和 7 年 1 月 25 日	

(7)修繕業務について

①山麓山頂駅舎改修修繕

山麓山頂駅舎に設置してあるウッドデッキの老朽化が著しいため、修繕を実施。



②類人猿舎等冷暖房設置修繕

チンパンジーや小型サルを飼育している獣舎には冷房がなく、夏季の室内温度が30度を超えるため、動物福祉の向上及び飼育環境の改善を図るため冷房を設置。



(類人猿舎 室外機)



(小型サル舎 室内機)

③券売機等新券対応修繕

令和6年7月に発行される新券に対応するため、券売機及び両替機の更新を実施。

④その他

- ・旧オランウータン舎アルミ扉修繕
- ・オートチェアガイドレール溶接補修
- ・フライングメガドーム歩廊修繕
- ・LED 道路照明取替修繕

等を実施。

(8)その他事業

キャッシュレス決済の拡充

第 2 駐車場の出口精算機を更新し、令和 7 年3月より駐車料金のキャッシュレス決済が可能とした。

○利用可能ブランド:クレジットカード(Visa/MasterCard 等)

電子マネー(交通系 IC 等)

コード決済(PayPay 等)

2. 令和7年度 事業計画等

(1) 職員配置

参与兼園長1人、飼育担当課長兼飼育第2係長1人、
園長補佐兼係長1人、係長3人、主査6人、主任主事1人、主任技師11人、
主事1人、技師1人、主任獣医師1人、獣医師2人、
主任指導員飼育員5人、主任飼育員2人、会計年度任用職員10人、
主幹1人(一般財団法人静岡市動物園協会派遣)
計47人

(2) 分掌事務

- ① 動物園の運営計画に関すること。
- ② 入園者に対する催し物の企画に関すること。
- ③ 動物園運営委員会に関すること。
- ④ 一般財団法人静岡市動物園協会との連絡調整に関すること。
- ⑤ 動物舎、展示施設その他の施設の管理に関すること。
- ⑥ 動物の収集、飼育、繁殖及び展示に関すること。
- ⑦ 動物に関する調査及び研究に関すること。
- ⑧ 動物の健康管理及び診療に関すること。
- ⑨ 傷病野生鳥獣の保護治療に関すること。
- ⑩ 動物についての教育普及活動に関すること。

(3) 計画概要

★目標入園者数

年間目標	有料	260,000人	無料	140,000人	合計	400,000人
(R7年9月末現在)		97,669人		50,174人		147,843人
(R6年9月末現在)		116,773人		59,191人		175,964人
(前年比)		▲19,104人		▲9,017人		▲28,121人
<参考> (R5年9月末現在)		128,935人		64,797人		193,732人

★入園者数実績

R06 : 397,678人 R05 : 414,052人 R04 : 450,862人
R03 : 420,937人 R02 : 372,147人 R01 : 509,539人

★飼育動物種数 137種 590点 (令和7年9月末現在)

(4) 主要事業

動物園管理運営（当初予算額 503,277 千円）

① 管理業務委託

受託者:一般財団法人静岡市動物園協会

業務内容:改札、駐車場、清掃、遊具などの管理・運営等

② 希少動物の繁殖関連事業

公益財団法人日本動物園水族館協会(以下、「JAZA」という。)では、野生動物を次の世代に伝えていくために、国内で飼育されている希少動物の中から、繁殖計画を策定する種を定めている。当園は「レッサーパンダ」と「オオアリクイ」の国内計画管理を担当し、これらの種の積極的な繁殖のほか、他の希少動物についても、JAZA の繁殖計画に則り取り組んでいる。

③ 動物に関する教育普及活動

・オータムスクール、動物ふれあい教室、幼児教室実施

(昭和46年から継続実施)

・職場体験学習やインターンシップの学生の受け入れ、出張動物園ガイドなどの各種団体向け講演を実施

④ 動物に関する調査及び研究

・岐阜大学等と共同し希少動物のホルモン調査研究を実施

(平成 8 年度から他大学を含め 30 年目)

・東海大学等と動物の行動調査を実施

(平成 24 年度から 14 年目)

・その他、各種研究会等への参加

⑤ レクリエーション(イベント)事業

・春、夏、秋、冬の動物園まつりや夜の動物園、企画展などを企画実施

・チラシ、ポスター、ノベルティ作成

・行楽シーズンにおける渋滞対策の実施(GW 期間中の駐車場予約、無料シャトルバス運行など)

<主な実施(予定)イベント>

- ・毎日のイベント
- ・レッパーくんお出迎え(毎月第3土曜日)
- ・ZOO スポットガイド(毎月第3日曜日)
- ・企画展 エサ展(7/15～8/31)
- ・夏の動物園まつり(8/1～8/24)
- ・夜の動物園(10/4、5、10/11、12)
- ・秋の動物園まつり(10/4～11/3)
- ・日本平動物園に行こう♪(11月の休園日1日)
※医療的ケア児(者)と重症心身障がい児(者) 対象
- ・冬の動物園まつり(12/13～1/12)
- ・干支展(12月中旬～1月中旬)
- ・春の動物園まつり(3/7～3/29)

(5) コレクションプラン

日本平動物園において飼育展示している動物を含め、今後の飼育動物を種ごとに情報収集・評価を行い、飼育動物の選定を行っている。当園が加盟する公益財団法人日本動物園水族館協会でも日本全体の飼育状況等を鑑みてコレクションプランを策定しており、当園もそれを踏まえ実施している。

(6) ゴールデンウィーク(令和7年4月29日～5月6日)の状況

当園の来園者や有度山エリア観光客の増加により発生する周辺道路渋滞の緩和策を実施。

※R7.5.3～6:駐車場事前予約制を実施。無料のシャトルバス運行。

① 無料シャトルバスの運行(JR 東静岡駅 ⇄ 日本平動物園)

※約15分間隔で運行

東静岡駅 →動物園	5月3日	5月4日	5月5日	5月6日
	晴れ	晴れ	晴れ	雨
利用人数	584人	837人	806人	12人

② (参考)各年度の入園者数(4月29日～5月6日)

令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
19,820人	28,007人	31,759人	37,929人	25,532人

(7)『夜の動物園』

令和7年 10月4日(土)、5日(日)、11日(土)、12日(日)の

17:30～20:30(最終入園 19:30)

※各日の駐車場は事前申込制。

<入園者数>

令和7年度	10月4日	10月5日	10月11日	10月12日
入園者数	2,837人	2,573人	1,757人	3,425人

令和6年度	9月21日	9月22日	10月12日	10月13日
入園者数	3,407人	2,934人	3,373人	3,530人

令和5年度	9月16日	9月17日	9月18日
入園者数	3,760人	4,494人	2,641人

令和4年度	9月3日	9月10日	10月1日	10月8日
入園者数	2,197人	2,348人	3,499人	3,650人

当日の様子(写真)



動物イルミネーション



新ホッキョクグマ舎前

3. 現況報告

(1) 飼育動物の近況報告について

【ホッキョクグマ】

今年、1月から5月にかけてロッシー(オス)とバニラ(メス)の繁殖のための同居飼育を実施し、交尾が確認された。バニラの出産に備え、5月からロッシーを新ホッキョクグマ舎に移動し、以降2頭を分けて展示している。



ロッシー



バニラ

(2) 繁殖・来園・出園・死亡動物について

① 繁殖動物

バーバリシープ



写真:令和6年4月11日撮影

4月6日、オス2頭誕生。
成育は2020年以来5年ぶり。

父親:「ボス」
母親:「イソギク」

名前「ソラマメ」(額の白斑が大きい方)
写真:右
「エダマメ」(額の白斑が小さい方)
写真:左

レッサーパンダ



写真:令和 7 年 9 月 22 日撮影

7月7日、メス 2 頭誕生
(1 頭は 4 日後に死亡)。

父親:「和」
母親:「ニコ」

このペアでは 2023 年以來 2 年ぶり
3 度目の繁殖。

ほか、プレーリードッグ(3/26、オス2 メス 2)、シバヤギ(5/2、オス1)、ツクシガ
モ(5/26、性別不明 1)などが繁殖

② 来園動物

ウスイロホソオクモネズミ



6 月 23 日、オス 2 頭
埼玉こども動物自然公園から来園。

ネズミ科最大級の種でフィリピン・
ルソン島の固有種。

ほか、オオバタン(性別不明1、加茂荘花鳥園より)、ヨツユビハリネズミ
(オス 1 メス 1、(株)栄豊より)、アオジタカゲ (オス 1 メス 1、(株)栄豊より)が
来園。

③ 出園動物

なし

④ 死亡動物

オランウータン



3月7日、ジュリー(オス・31 歳)が死亡(仮性結核)。

当園で生まれしばらく横浜に出園していましたが2022年に帰ってきました。穏やかな性格でトレーニングにもおとなしく協力してくれていました。

(3)改修工事・修繕業務 進捗状況

・山頂・山麓駅舎改修修繕

令和6年度予算で来園者の動線範囲など早急に実施する必要がある箇所において、修繕を行った。令和7年度では、山頂広場 遊歩道接続箇所のデッキを取壊し、整備後階段を設置、遊歩道が利用可能となった。今後、山麓駅舎の動線以外の箇所のデッキ修繕を実施予定。



(山頂階段設置箇所)



(山麓修繕実施箇所)

・猛獣館・新ホッキョクグマ舎ろ過機修繕

機器設置後それぞれ16年、9年経過し、設備が修繕時期となったため、修繕を実施中。



(猛獣館)



(新ホッキョクグマ舎)

・熱帯鳥類館防排煙設備修繕

建設から41年が経過し、昨年度の点検時に不良箇所が発見されたため、修繕を実施予定。

(4)その他

① 民間企業等との連携事業について

・静清信用金庫との連携

SDGsの取組みの一環として、7月15日(火)から9月30日(火)までの期間、静清信用金庫が本店営業部前で毎日打ち水を行う企画(打ち水大作戦)を実施した。当園もその企画に連携して、動物の視点を通じて「地球環境」を考えることをテーマに、「SDGs デジタル絵本」や「どうぶつエコクイズ」のパネル展示を同金庫本店営業部ロビーで行った。

なお、同金庫とは、「日本平動物園と静清信用金庫との連携・協力に関する協定」を締結しており、これまでも継続して当園をサポートしていただいている。

・トヨタユナイテッド静岡株式会社との連携

8月31日(日)にトヨタユナイテッド静岡株式会社と連携してイベントを実施した。同社には、謎解きラリーの企画から運営まで担当いただき、さらにイベント(動物たちのお食事タイム)で使用する果物等をご用意いただいた。



トヨタユナイテッド静岡(株)イベントブース

・大学等との連携

イベントの魅力向上を図るため、しずおか中部5市2町で取り組む「令和7年度しずおか中部連携中枢都市圏課題解決事業」に対して、『イベント「夜の動物園」等のブラッシュアップ!』と題し、連携大学を募ったところ、静岡英和学院大学に協力していただけることとなった。10月の夜の動物園では、イルミネーションやフォトスポットでイベントを盛り上げていただいた。



夜の動物園におけるフォトスポット

② 日本平動物園サポーター制度

令和 6 年度に引き続き、日本平動物園サポーター制度の申込受付を実施。

<令和7年8月 1 日認定者数>

個人:43 人 (サポーター料:255,000 円)

団体:2団体 (サポーター料:100,000 円)

※令和7年8月 1 日現在、82 人、2団体をサポーターに認定している。

(令和 7 年 1 月 1 日認定者 39 人含む)

<令和8年1月 1 日認定受付分>(令和7年 10 月 13 日現在)

個人: 40 人 (サポーター料:220,000 円)

団体: 1団体 (サポーター料: 50,000 円)

③ 借用動物期間更新等調整業務

レニングラード動物園(ロシア)より借用(令和8年3月 30 日まで)しているホッキョクグマ(個体名:ロッシー・オス)の継続展示を行うため、同園と借用期間の延長等に関する協議を行ってきた。

令和 7 年 10 月 1 日に借用期間延長(令和 17 年 12 月 31 日まで)などについての協議がまとまり、追加協定書を締結した。

